に先立ち、尼子氏の系譜

を本拠とし、16世紀の初 めごろの山陰、山陽2道

市広瀬町の月山富田城

に覇を唱えた、

次回からの10城の紹介

を紹介する。

門前ほかで。前夜祭は

| ◇4月9日まで、松江 | い合わせは総務省島根

第36回声に出して読 | 〇・新田さん(電話0 |

由訪書会irI2UN | 旳奏集音 入場無米

足 | 田 〇 亿 ブ 礼 名 |

オブゴハ唇、(1)

一く、昨間そのに大の見

尼子氏と己子

くにびき2旗の会

郡尼子郷を名乗って尼

命を引き出し、富田城を

に弱体化する。晴久の死

を全滅させるなど、次第

守護京極政経は、

与えられた近江犬

子と称し、その子の持々

として出雲に下り、

大名の代表的存在。京 1478 (応仁元)

極道譽(どうよ)の孫高 持久の子、清貞は富田城 からの「応仁の乱」の中、 にいて京極氏の忠実な守

けて勢力を増大させてい され、次第に経済力をつ 関での関銭徴収を委託 護代でありつつ、出雲東 部の国人層を抑え、美保

尼子経久(つねひさ) 清貞の嫡子経久が守護

の乱後の混乱に乗じ、 収を怠り、社寺領を押領 府御料所美保関の関銭徴 守護段銭の徴収を拒

代になったのは1478

否することで、戦国大名

(文明10)年ごろ。応仁 、の道を歩もうとした。 1484 (文明16 雲陽軍實記」による

になったと言う。 城に依って出雲尼子の祖 が、伯父である守護京極 (たかのり)の代官 年 進出し勢力を拡大した。 どによる経済力を背景 出雲の砂鉄、石見銀山な ると、美保関の関銭、 出雲国内の統一を完了す そのようなドラマチック 86(文明18)年、手勢 な奪回劇を否定する見方 をひきいて富田城を奪回 に、因州及び芸備方面に し、16世紀の初めごろ 奪回後、国人層を制圧

甥で惣領の晴久と対立し の一翼を担っていたが、 て討ち死。三男・塩冶師 宮党」を組織し、尼子軍 ち嫡子・政久は、若くと 久は、父に叛いて自殺。 一男・国久は武士集団「新

尼子の旗下10家10城を

云う」とある。10旗とは、

これを出雲一国の十旗と

真木、第十は大西なり、

第八は熊野、

四は赤穴、第五は牛尾、

二沢、第三は三刀屋、第

第六は高瀬、第七は神

禄の第一は白鹿、

惣じて尼子旗下にいて

雲陽軍實記」※に

尼子10旗

とともに、その城は富田 指し、有力な家臣である

城防衛体制の重要拠点と

■富田城の落城 尼子は、1554 (天

の謀略により「新宮党」 文33)年に、晴久が毛利

平成28年(2016年)4月8

尼子持久(もちひさ)

現在の安来

安来市教育委員会提供

富田月山城之図

日替わり連載コーナー

◇月曜日は島根県立図書館の「おすすめ新着本」紹介 ◇火曜日は石飛榮一さんの「戦後70年

今、

伝えたいと

「尼子氏」 ◇水曜

「学芸員日記」を隔週で ◇木曜日は西尾良一さんの「故郷の『学校の木』巡り」◇金曜日はくにびき4旗の会の

当たらない。

なっている。

但し

10旗

の制は確実な史料には見

追放したが、経久は14 経久の3人の男子のう 久の子、大将の義久が降 566 (永禄9) 年に晴 郡奈古(山口県阿武町) 新宮党滅亡の際ただひと 寺に幽閉された後、 禄5)年に富田城は、 の2年後の1562 (永 島県安芸高田市)の円明 子 3 兄弟は、安芸長田(広 に包囲され、4年後の1 雲に進攻した毛利の大軍 において、毛利の家臣と くし、 富田城を 開城した。 義久と倫久、秀久の尼 方、山中鹿介らは、

り落ち延びた尼子の遺児 尼子孫四郎を大将と仰 点で一級の歴史資料であ ※尼子氏盛衰の歴史 滅亡直後に書かれた 尼子再興の戦いを展

との相違も指摘されてい るが、脚色や歴史的史実 ス代百円。

花まつり

デモクラTV公開収 | 93・871) へ。

|会 (電話0120・6

平

8時半から午後5時、 まつられた誕生仏に甘 ◇4月8日までの午前 茶をかけ祝う。 畑薬師で。花御堂に

師観音堂で。 0 1 1 1 は電話0853・67 初心者歓迎。申し込み 円、茶礼あり。指導は 半から9時半、 畑薬師管長。要予約、 会費3百 3

◇4月8日の午後7時

畑薬師週末坐禅会

ら午後0時半、 ◇4月8日午前11時か 平癒特別祈願祭 ん」眼病平癒・諸病 一畑薬

畑薬師「ようかさ

縁支部体験会 練習 スポーツ吹矢出雲ご

ら5時、国富コミュニ ◇4月10日午後1時か

費3百円、マウスピー は事務局(電話090・ ティセンターで。参加 問い合わせ

時